

施策番号	1601		
施策名	高齢者の尊厳を保つ社会の構築		
概要	世代を越えて支え合う社会の構築のため、長寿社会への理解と認識を深める取組を推進するとともに、高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）	b	c	93	109	106	102.8%	a	1.00
2	成年後見支援センター利用者数（人）	a	a	5,840	7,183	6,689	107.4%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	b					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言う とそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	c	c	43 6.5%	184 27.9%	246 37.3%	123 18.6%	64 9.7%	660	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	この施策は、対象となる市民が一部の高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
・高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実が図れているものの、高齢者のくらしの充実につながるものとして、広く実感されていないことから、4割弱の方がどちらとも言えないと回答しており、c評価で推移している。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・関係機関・団体と連携し、成年後見制度の普及・啓発、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援などに取り組み、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現を図る。

施策名	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築				
-----	------	----------------	--	--	--	--

指標名	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1		
-----	---------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

成年後見制度の利用が必要な身寄りのない重度の認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数

2 指標の意味

判断能力が不十分な認知症高齢者のための権利擁護の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における申立件数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	93	109	16件増	106	過去5年間の申立件数最高値の1%増	102.8%

	全国順位	中長期目標			根拠
	数値	目標年次	達成度		
数値	-	119	令和7年度	91.6%	本市として達成すべき数値

備考
(参考：過去5年の申立件数)
平成26年度 102件
平成27年度 105件
平成28年度 85件
平成29年度 96件
平成30年度 93件

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度利用に係る市民ニーズに対応するため、当面申立件数を増加させる必要があることから、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。
最高値：105件（平成27年度）

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	c	a

1 指標の説明

成年後見制度を必要とする方の発見から利用までの一貫した支援を行う成年後見支援センターを利用した方の実人数

2 指標の意味

成年後見制度の利用を必要とする方に対する支援の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	5,840	7,183	1,343人増	6,689	令和2年度の目標値達成のために当該年度達成すべき数値（毎年3%増）	107.4%

	全国順位	中長期目標			根拠
	数値	目標年次	達成度		
数値	—	7,673	令和2年度	93.6%	第7期京都市民長寿すこやかプランに掲げる目標値

備考
平成24～28年度までの累計値 3,907
平成29年度 900（プラン策定時見込数値）
平成30年度 927＝900×1.03
令和元年度 955＝927×1.03
令和2年度 984＝955×1.03

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度に対する市民ニーズに対応するため、「第7期京都市民長寿すこやかプラン」に定める目標値を達成する必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a